

現在の位置: [トップページ](#) > [くらしの情報](#) > [住まい・ペット・動物](#) > [ペット・動物](#) > 地域猫制度について

## くらしの情報

[住まい・ペット・動物](#)

▶ [ペット・動物](#)

### ペット

▶ [平成29年度狂犬病予防集会注射のお知らせ](#)

▶ [犬の登録と予防注射](#)

▶ [犬の登録の変更手続き](#)

▶ [飼い犬の死亡届](#)

▶ [犬・猫の引き取り](#)

▶ [犬・猫等の死体処理は](#)

### 共生のあり方

▶ [「人と動物の共生」福生市民会議の取り組み](#)

▶ [犬の飼い主のマナー](#)

### 猫とのかかわり

▶ [地域猫制度について](#)

▶ [猫に関するマナー](#)

### ハトのエサやりストップ

▶ [ハトにエサをあげないで!](#)

▶ [ハトのフンから生じる健康被害の代表例](#)

▶ [ハト被害Q&A\(健康被害編\)](#)

### カラス

▶ [カラスの被害について](#)

### ハチ

▶ [ハチについて](#)

### アライグマ・ハクビシン

▶ [アライグマについて](#)

▶ [ハクビシンについて](#)

## 地域猫制度について

[Twitter](#)

[シェア8](#)

ページ番号1002919

更新日 平成29年7月31日

[印刷](#)

猫をめぐるトラブル解決のために、市では、平成18年度から地域猫制度を進めています。

飼い主のいない猫のフン害、えさやり等で困っていませんか。しかし、猫を排除することはできません。また、餌やりについて取り締まるルールはありません。対応に苦慮している地域が増えています。

このような飼い主のいない猫は、無責任な飼い主が飼育を放棄し、捨て猫となって増えてきた不幸な猫ですが、無責任な餌やりは、不幸な猫を増やすだけで問題の解決にはなりません。

このような猫をめぐるトラブル解決のために、市では、平成18年度から地域猫制度を進めています。

### 地域での猫トラブルをゼロに!

#### 地域猫制度って何

地域猫制度は、このような猫を不要なものとして排除するのではなく地域の問題として考えます。猫トラブルをゼロにしていくことを目的に、地域に住む方、問題解決に取り組むボランティア、市が協力しあって町会・自治会の合意もとに行う協働事業です。

#### 地域では何をしますの

その地域の生活環境、住民意識などによって異なりますが、地域の猫として地域で責任をもった取り組みをお願いします。町会ボランティアが主体となり、地域の飼い主のいない猫の捕獲、不妊・去勢手術、餌やり、周辺の清掃等を実施し猫の数を地域でコントロールします。市と福生地域ネコの会も支援します。

#### ボランティア活動の実績

年度	オス	メス	合計
平成18年度	28頭	19頭	47頭
平成19年度	16頭	25頭	41頭
平成20年度	24頭	27頭	51頭
平成21年度	25頭	27頭	52頭
平成22年度	31頭	24頭	55頭
平成23年度	30頭	41頭	71頭
平成24年度	38頭	39頭	77頭
平成25年度	38頭	42頭	80頭
平成26年度	36頭	43頭	79頭
平成27年度	31頭	34頭	65頭
平成28年度	39頭	54頭	93頭
合計	336頭	375頭	711頭

#### ボランティア団体などに手術費を助成しています

地域猫制度に基づき、町会・自治会等で飼い主のいない猫を適切に管理しているボランティア団体が行う不妊去勢手術に対して予算の範囲内で手術費を助成しています(上限:オス7,000円、メス12,000円)。なお、個人でなされた不妊去勢手術や飼い猫への手術などは対象になりません。

## セアカゴケグモ

▣ [セアカゴケグモについて](#)

▣ [クビアカツヤカミキリについて](#)

## 野生動物について

▣ [野生動物への対応について  
のお願い](#)

助成金を受けるためには、市に登録する必要があります。登録を希望する団体は、地域猫制度、助成金等についての説明をします。

## 福生地域ネコの会

### 福生地域ネコの会とは

平成17年に市で公募した「地域猫を考える市民会議」が母体となり、平成18年4月に「福生地域ネコの会」が結成されました。活動は、地域猫活動のサポート、ふっさ桜まつり、熊川げんき広場フリーマーケットでのバザーや募金活動をしています。活動での収益は、地域猫の不妊去勢手術費に全額あてています。会員・サポーターを募集しています。一緒に活動しませんか。

## さくらねご無料不妊手術事業について

### さくらねご無料不妊手術事業とは

公益財団法人どうぶつ基金から無料で不妊去勢手術が受けられるチケットの交付を受け、住民やボランティア団体と連携してTNR活動を行う事業です。TNR活動は、飼い主のいない猫を捕まえて（Trap）、不妊去勢手術を行い（Neuter）、元の場所に戻す（Return）活動です。手術を終えた猫からは子猫が産まれないため、飼い主のいない猫の頭数抑制が見込めます。

福生市では、飼い主のいない猫に関する問題を解決するため、ボランティア団体への手術費の助成に加えて、平成28年度から公益財団法人どうぶつ基金の「さくらねご無料不妊手術事業（行政枠）」に参加し、住民やボランティア団体の協力のもとTNR活動を行っています。

### 公益財団法人どうぶつ基金とは

公益財団法人どうぶつ基金は、動物の適正な飼育法の指導・動物愛護思想の普及等を行い、環境衛生の向上と思いやりのある地域社会の推進に寄与することを目的とし、各種事業を行う団体です。

### さくらねごとは

不妊去勢手術を受けたしるしとして、耳先をさくらの花びらの形にカットした猫のことです。耳先のカットは手術で麻酔が効いている間に行うため痛みはなく、再捕獲されないための目印となります。

※さくらねごTNRは、猫や犬とヒトが幸せに優しく共生できる社会を目指す公益財団法人どうぶつ基金と福生市役所の協働事業です。

## 関連情報

- ▶ [東京都動物愛護相談センターホームページ（外部リンク）](#) 
- ▶ [公益財団法人どうぶつ基金ホームページ（外部リンク）](#) 